

2025年2月21日

一般財団法人日本自動車研究所

茨城県警察本部、水戸市消防局と災害対策のための連携協定を締結

～災害発生時の地域安全へ貢献～

2025年2月14日、一般財団法人日本自動車研究所（代表理事研究所長 鎌田実 以下、JARI）は、茨城県警察本部（本部長 滝澤幹滋氏）、水戸市消防局（消防局長 大信成人氏）と災害対策のための連携協定を締結しました。

これにより、各機関との更なる密接な協力関係が構築されるだけでなく、災害発生時の地域安全への貢献が期待されます。

協定の概要

【締結先】茨城県警察本部

【名称】大規模災害発生時の協力及び災害警備訓練に関する協定

【主な内容】

- (1) 大規模災害時での警察用航空機の離発着、宿泊場所の提供
- (2) 警備活動訓練（数回/年程度）
- (3) 災害情報等に関する情報共有等



（左）茨城県警察本部 滝澤本部長（右）JARI 鎌田研究所長

【締結先】水戸市消防局

【名称】自動車等に関連する災害対策に関する協力等の協定

【主な内容】

- (1) 自動車等災害の発生現場活動に関する助言
- (2) 災害情報の共有
- (3) 自動車等災害広報に関する助言
- (4) 城里テストセンター防災体制の充実、防火訓練等に対する指導、助言等



(左) 水戸市消防局 大信局長 (右) JARI 鎌田研究所長

昨今、日本各地では地震・豪雨など、自然による大規模災害が多く発生しています。これらの災害現場において、人命救助を日頃からの訓練で迅速に対応できることは非常に大事で、茨城県警察本部、また水戸市消防署との連携は実効性があると考えます。

JARI は、今回の各機関との連携協定締結を通じて、近隣の警察および消防とのいっそうの連携を深め大規模災害などの発生に備えるとともに、地域の安全に貢献してまいります。

◆**合同訓練について**

締結式のあと、城里テストセンターの悪路試験場や調整池などで合同救出訓練を行いました。

合同訓練では、茨城県警や水戸市消防局らから約 70 人が参加、ヘリコプターによるホイスト救助訓練や土砂埋没車両からの要救助者を救出するなど、STC を生かした災害現場を模した設定により、県警と消防が連携して迅速に救出を行う他に例をみない大規模訓練となりました。

さらに、交通事故等により変形した車両から乗員を迅速に救出するための車両解体訓練を実施しました。

なお、これらの訓練で使用した車両は、独立行政法人自動車事故対策機構（ナスバ）様より提供いただきました。この場を借りて謝辞を申し上げます。

以 上

<当件に関するお問い合わせ>

一般財団法人 日本自動車研究所 企画・管理部 企画グループ 小倉・宮本 sogomado@jari.or.jp